



# 校長室だより 2

黒部市立荻生小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和5年12月22日  
5年度第27号

## 2学期最終日は雪の中でのスタート…！

雪の心配でハラハラの2学期最終日を迎えましたが、朝、学校周辺の道路や職員駐車場はすでにきれいに除雪されていました。早朝から除雪作業をしてくださった方々に感謝いたします。

もっとも、大人にとっては大変な雪も子供にとっては楽しみのうちのように、児童玄関前では、除雪されていない積雪ゾーンをわざわざ選んで歩く子が多数。その雪でミニ雪だるま（オラフ？ or 雪だんご4兄弟？）を作っていく子も…。また、雪の上の自分の足跡を何度も確かめ確かめ歩いてくる子もいました。校門に立っていた私はふと、「この雪と足跡のことを今日の終業式の話に盛り込もう」と考えていました。

## 感動いっぱい第2学期終業式

今日の終業式は、寒さ対策のためランチルームで行いました。

まず代表児童の「今学期がんばったこと」の発表でした。

- 「（なわとびの二重跳びの練習と、学級代表の仕事をしたことから）これからもあきらめずに挑戦したいです。みんなの役に立つことをしたいです。」
- 「（運動会の応援や鼓笛隊の練習を通して）どんなことでもみんなと協力して乗り越えられることを学びました。」
- 「（スマイル集会の企画・準備で）ぎりぎりまでよく考えて工夫したことで集会が大成功に終わり、うれしかったです。」

3人とも、具体的な体験とそこから学んだことが含まれた、大変素晴らしい内容でした。

次は校長の話でした。私は、今朝の雪で自分の足跡を確かめながら登校してきた子がいたことに絡め、「終業式はその学期の『足跡』を振り返る日です。荻っ子の『足跡』はどうでしょうか。今日はランチルームに班ごとに座っているので、班で考えてみてください。荻っ子の2学期の自慢は何でしょうか」と問いかけました。短い時間に、どの班でもあれこれ話し合う姿が見られました（この続きはHPの「2学期終業式」をお読みください）。

最後にこの1ヵ月余りお世話になった永井先生とのお別れの会がありました。

永井先生からは、「荻っ子はみんな仲良く元気がよかったです。全校をまとめる6年生の姿が頼もしいと感じました」「1年生の集会の様子を見てみると、こうしたことを1年生の時から積み重ねることで、荻っ子たちが素晴らしい力をつけるのだなと思いました」といった言葉をいただきました。

永井先生、ありがとうございました。また機会がありましたらよろしく願いいたします。

今日の終業式は、いつも以上に感動することがたくさんでした。

その後の学級の時間には、各教室の年末の掃除に取り組む姿が見られました。

**皆様、よいお年をお迎えください。**

★今回の「校長室だより」は本校のホームページのみの公開版です。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第27号への感想

年 児童名



## 第2回校長杯計算大会を行いました

19日(火)の朝活動の時間に第2回校長杯計算大会(たし算の部)を行いました。前回と同じく「1ケタ+1ケタ」の計算をできるだけたくさん解きます。集中して取り組むその2分間は全校中が静かになりました。その「集中して取り組む感覚を体感する」ことがまずは大切だと、個人的には考えています。

さて、全校が同じ問題で競い合ったその結果は…? 全校1位と2位は前回と同じ子でしたが、3位以下は多少顔ぶれが変わりました。上位10名の平均点は前回よりも12点もアップしていて、どの子も力が入っていたことが分かりました。また100点以上の子17名を「校長賞」としました。

また、前回よりも特に点数が伸びた子11名を「のびたで賞」としました。最高で41点アップの子がいて感心しました。しっかり練習したのでしょう。

大会が終わってから「もう1回やりたい」「次はもっとがんばる」と言うてる子もいました。「たかがたし算」ですが、算数の基本的な技能であることは間違いありません。今回の大会を刺激にして、日頃の学習も頑張ってもらいたいです。



## シリーズ「教室におじゃまします」12/20(水)5年国語科の巻

構成を考えて、説得力のある意見文を書く学習の続きでした。教科書の例を読み、今回取り組む意見文の構成を確認します。

①主張 ②理由と根拠 ③予想される反論とそれに対する考え ④まとめ・主張 高松先生は「段落の分け方もこれを基にするといいね」と補足しました。

子供たちは手元のワークシートも見返しました。ここには今回学級で考えた共通のテーマ「登下校する際はランドセル以外のものがよい」の構成メモが書かれていました。2学期の授業時間があとわずかなので、今回は皆同じこのテーマで意見文の書き方を学習するのだそうです。皆同じテーマとはいっても、いざ意見文を書き始めると、一人一人の書きぶりには個性が表れていました。たとえば題名も「ランドセルよりもバッグのほうがよい」「ぬれないためにランドセル以外のものがよい」「ランドセル以外のものでも登校する方がいい理由」等々。少しずつ思いの違いが表れます。文体も「～だ・～である」の常体か「～です・～ます」の敬体かで伝わり方の印象が違います。一通り書き終わった子から席を移動し、互いの意見文を読み合う姿も見られました。読み比べることで、よりよい意見文の書き方の学習につながると思います。集中して学習する5年生でした。



**おまけの<ひとりとこ>**いつもこの「校長室だより」は発行日の前日夕方にはほぼ出来上がり、翌日に印刷して発行、HPにアップとなるのですが、今回はその「前日入稿」ができませんでした。なぜなら「警報級の大雪の恐れ」とのことで、臨時休校はしないと決まっていたものの、終業式の日がいったいどういう一日となるのかが本当に予測がつかなかったからです。はたして22日の午前中は、雪の影響もたいしたことはなく、無事に終業式を終えることができました。ほっと一安心。そしてその日の午後に今回のおたよりを書き上げることができました。紙では配布できずHPのみの公開となりますが、ぜひ皆様ご一読を…。

★今回の「校長室だより」は本校のホームページのみの公開版です。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

校長室だより第27号への感想

年 児童名